

「ハクション!!!」今年も花粉症の季節がやってきました。ご両親の花粉症のお薬はご予約なしで処方可能ですのでぜひご利用ください。卒業、卒園、入学を迎えられるご家族は誠におめでとうございます。だいぶ春めいてきて、サクトロウの散歩も心地良く新しい季節にワクワクします。何か新しいことを始めたいと思う今日の頃…。 院長 池澤滋

感染症情報 1/26~2/22	前回	今回
RS ウイルス感染症	5	11
アデノウイルス	2	9
溶連菌感染症	10	11
感染性胃腸炎	32	24
水痘	10	4
手足口病	2	1
リンゴ病	6	5
突発性発疹	8	4
インフルエンザ A	172	18
インフルエンザ B	50	415



### 実話

今年の1月3日、夫のまさかの発言「今年一番おいしいー!」年間ランキングが、もう更新されました(笑)。

### 「高菜のし愛が強すぎる件」

作:絵子エリ&キミ




### どっちに転んでも



3月、春ですね。

この通信を読んでくださっているお母さんたちは、まだお子さんが小さく、おむつを替えたり、抱っこしたり毎日てんやわんやの時間を過ごしておられるかもしれません。

「今が一番大変!」

私も子どもたちが小さい頃はそう思っていました。けれど、今振り返ると“今が一番大変”という感覚は、形を変えながら何度も訪れるものだと感じます。最近、私の周りも「高校受験」「大学受験」を控えたお子さんをお持ちの方が増えてきました。

先日、ある方に食事のお誘いをしたら

「子どもの大切な挑戦の最中だから遠慮しておくね」というお返事でした。

子どもが頑張っているのだから、自分も何か我慢しなければいけない気がする、そばにいてあげなければ、ちゃんとご飯を作ってあげなければ。

インフル対策、夜食の用意! マネージャーのように子どものそばでサポートする。

かつて私もそうでした。

しかし今になって思うのは、私がサポートしたから合格したわけでもなく、サポートしなかったから不合格になったわけじゃない、ということ。

実は三番目の娘は、高校受験で第一志望に落ちました。合格発表の朝、あの高校の掲示板の前で感じた絶望は、今でも鮮明に覚えています。その時の私は、どう受け止めていいのかわからず、すぐに前を向くことが出来ず、

それでも動じていないように、口先だけで娘に「大丈夫!大丈夫」を連呼していたように思います。

けれど、時間が経つにつれてあの出来事は“人生を決めたもの”ではなく“人生の中に起こった、ただの一つの出来事”に変わっていきました。

娘の着た制服は想像していたものではなかったけれど、卒業して10年経った今も、そこで出会った友人とあだ名で呼びあい仲良くしています。

もし第一志望に合格していたら、出会わなかった友達。思い通りにならなかった出来事はその瞬間には「失敗」に見えますが、思い通りにならなかったからこそ出会えたものや、得られたものに今、満ち溢れていることに気がつきます。

選べなかった道にも、幸せや喜びが必ずある! どちらに転んでも人生は続いていき、そしてその先には、想像もしていなかった豊かな時間が待っていることもあるのです。この道しかない人生などありません。合格しても、合格しなくても、人生にはそれなりに喜びがあり、それなりに苦労もあります。つまり、どちらに転んでも人はどうにでも生きていける。

いつか皆さんが、お子さんの受験という節目に立ち会う日が来たとき、この文章を少しだけ思い出していただけたら嬉しく思います。



文責 池澤千恵子